

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	16-039	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
<p>Release from drinking-age restrictions is associated with increases in alcohol-related motor vehicle collisions among young drivers in Canada.</p> <p>カナダの若年運転者は飲酒年齢制限が外れた直後のアルコール関連自動車衝突事故が多い</p>		
執筆者		
Callaghan RC, Gatley JM, Sanches M, Benny C, Asbridge M.		
掲載誌		
Prev Med. 2016 Oct;91:356-363. doi: 10.1016/j.ypmed.2016.08.041.		
キーワード		PMID
飲酒年齢制限、自動車衝突、飲酒		27575318
要 旨		
目的：		
<p>アルコール関連の車両衝突(MVCs)は現在、法的飲酒可能最少年齢(MLDA)に関する国際的な議論の上で、大きな懸念材料である。しかし、既存の文献は 20~40 年前に起こった MLDA の変更のような自然実験に基づくものであり、多くの限界がある。著者らはカナダ全土の一般集団から集めた MVCs の情報を元に、飲酒年齢制限の前後でアルコール関連 MVCs の発生頻度が異なるか調査した。</p>		
方法：		
<p>15~23 歳のカナダ在住運転者における、カナダの飲酒年齢の法律と一般集団でのアルコール関連 MVCs(n=50233)の関連を回帰不連続法により推定した。</p>		
結果：		
<p>男性においては、MLDA より僅かに若い運転者に比べ、MLDA を少し過ぎた運転者におけるアルコール関連 MVCs の急激な増加が次の州で認められた。オンタリオ州 40.6%(95%CI: 25.1~56.6;P<0.001)、マニトバ州 90.2%(95%CI: 7.3~171.2;P=0.033)、ブリティッシュコロンビア州 21.6%(95%CI: 8.5~35.0;P=0.001)、アルバータ州 27.3%(95%CI: 10.9~44.5;P=0.001)。逆に、ノースウェスト準州では-102.2%(95%CI: -120.7~74.9;P<0.001)と予想以上に低下していた。女性においては、オンタリオ州、アルバータ州で 34.2%(95%CI: 0.9~68.9;P=0.044)、82.2%(95%CI: 41.1~125.1;P<0.001)と制限年齢を過ぎた運転者で増加が見られた。国全体としては、制限年齢未満の運転者に比べ、その年齢を少し超えた男性運転者でアルコール関連 MVCs が急激に増加していた(重症 MVCs27.0%(95%CI: 12.6~41.7;P<0.001)、致死の MVCs53.4%(95%CI: 2.4~102.9%;P=0.04)。</p>		
結論：		
<p>カナダでは飲酒年齢制限が外れると、特に男性では致命的または非致命的アルコール関連 MVCs が増えるようだ。</p>		